

平成 23 年 8 月 20 日（土） 昭和 4 2 年川辺高校卒同窓会



平成 23 年 8 月 20 日（土），昭和 4 2 年川辺高校卒同窓会が清水磨崖仏キャンプ場で行われた。

この 2～3 日雨天模様の続いている中で実施された。外でのバーベキューにするか室内でのメニュー変更にするかということで，前日川原会長・西（正）副会長は迷ったが，外でのバーベキューを選択した。当日，15 時ごろまでは雨がポツポツと降っていた。14 時ぐらいからは川辺の実行委員の皆さんが買い出しやバーベキューの周りの外回りの準備をしてくれた。特に，有村君はバーベキュー実施する場所の上にテントの設営や照明の準備を積極的にやってくれた。

集合時間の 17 時 30 分ごろになると懐かしい顔が集まりだした。わやだいやったけ？ あん彼女はだいやったけ？ とあちこちでささやき合いが始まった。そのころになると上空は曇り空ながら雨はほぼ上がっていた。我々 42 年卒の情熱が雨を吹き飛ばしてしまった。皆の首に名札が掛けられた。名札のフォルダーは松村君が川辺町商工会から借りてくれた。そこでまずは，全員による記念写真を撮影した。

さあ，いよいよ 18 時に近づき長野が準備したいろんなグッズの入っている封筒を皆に配った。封筒の中は，①川辺高校より＜川辺高校同窓会報・学校概況説明/学校便り・川辺高校パンフレット・川辺高校の先生が準備してくれたしおり（since 1900）＞，②長野より＜卒業アルバムをスキャンした冊子・入戸溶結凝灰岩に“封印”された日食（清水磨崖仏に関する鶴丸高校の先生の論文），名前と月日と場所入りのしおり，そして今回は高校三年生の歌とそこに個々の高校時代の写真を入れてラミネートしたもの，出席者名簿と会計報告，アンケート＞が各自毎に入っている。特に今回は皆さんに，高校三年生の歌とそこに個々の高校時代の写真を入れてラミネートが喜んでもらえたようであった。

18 時，西（正）君の司会の下，まず同窓生・恩師そして 3 月の東北地震津波の災害に合われた人たちも含めて，30 秒間の全員黙祷を実施した。川原会長による挨拶があり，上野（紀）君が乾杯の音頭を取った。さあいよいよ，生ビールがのどを潤しバーベキューが開始された。児玉君の紹介でかきうちのおいしい肉があちこちでジュージューいいだした。しばらくは皆さん生ビールと肉に舌ずつみを打ちながら至福の一時を過ごしていた。

腹も一段落するころは周りも真っ暗くなった。そこで司会を西（正）君より長野がバトンタッチした。今回出席者全員に近況報告や今取り組んでいること等をお願いした。皆さんが元気でいろいろなことに取り組んでいる様子が分かり、自分もまだまだやらねばならないことが皆さん沸々とわいてきたようであった。女性の7名に対しては男性の皆さん執拗に食い下がり質問攻めにしていた。やはり同窓会では女性の力は大である。最後に長野は星の最終講座をしようと思っていましたが、残念ながら夜空は真っ暗闇であった。

21時、中締めに入った。次期の同窓会について会が盛り上がった。平峯会長の下、まとめ役（連絡係）は1組上野（紀）、2組西（正）、3組坪内、4組松清、そして5組諏訪と決定した。下野（堀内）君が新校歌と旧校歌を歌おうと言い、皆高らかに歌い清水磨崖仏に響き渡った。さらに、高校三年生のスキャンファイルを見ながら、いろいろな思いを胸に高校三年生を歌い上げた。いよいよ締めは平峯次期会長が「次回もたくさんの人たちを集め、またたくさん楽しく飲みましょう。次回は各自が1人以上を勧誘してきてほしい。」と述べた。

女性を含め半分近くが帰った後、何人かが残りまだまだ話したりないことや飲み足りない所を夜遅くまで補った。清水磨崖仏キャンプ場の2棟のロッジ（20名宿泊可能）への最終の宿泊は結局8名であった。これなら申し込みが1棟でよかったことになる。夜空には夏の大三角形がやっと現れていた。さすがに星空日本一の町である。谷川のせせらぎの音を聞きながら24時に就寝した。翌朝6時ごろ、肌寒い中皆さん起きてきて、最後にサンドイッチと巻きずしとお茶で朝食を済ませた後、各自家へと帰宅していった。皆さんお疲れ様でした。

（文責；昭和42年卒同窓生）

2011年09月19日 登録